岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一般国道　314号　測量設計地質調査業務委託（道路改良・単独）

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　橋梁・高架

ボーリング名	B-3	調査位置	広島県庄原市東城町川西	北緯	34° 53′ 31.8600″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和4年 2月 2日～ 令和4年 2月 5日	東経	133° 16′ 21.2712″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 303.65m	角度	180°（上）・90°・0°（下）・0°	方向	北 0°・90°（東）・180°（南）・270°（西）
総削孔長	8.00m	地盤勾配	0°（水平）・0°（鉛直）・90°	使用機種	試錐機：東邦D1B-58 / エンジン：ヤンマーNFD15 / ポンプ：東邦BC-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事
	302.75	0.90		シルト質細砂	暗褐								小礫を若干量混入する。コア長8cm程度の玉石をみとめる。
1												[100]	
2				玉石混じり砂礫	灰褐～黄褐灰							[100]	基質は細～中砂からシルト質微細砂まで層相と色調の変化に富む。礫は径5～50mmの円礫～亜円礫が主体。
3												[100]	玉石はコア長5～10cmが主体で、最大コア長は22cm。
4	299.25	4.40										[100]	礫、玉石は非常に硬質な火成岩類からなり、色調が多様。
5	298.65	5.00		礫岩	淡青褐灰	w3	h3	D	Ⅲ	c	D	15[15][100]	礫は、径2～50mmの円～亜円礫が主体。やや脆い半固結状。
	298.15	5.50		砂岩	淡青灰		h1			a		25[47][100]	均質な半固結状細砂。ハンマー軽打で割れる。
6				礫岩	淡青灰	w2	h2	C	Ⅱ	b	CL	29[55][100]	コアは半固結状。径5～50mmの円～亜円礫とコア長3～5cm程度の玉石を70%程度含み、基質は淡青灰の砂岩で充填されている。
7												28[74][100]	ハンマー軽打により礫は基質から分離する。
8	295.65	8.00											礫・玉石は非常に硬質な火成岩。
9													
10													
11													
12													
13													

孔内水位／測定月日：2/3 1.58

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
21	1.15	21		
	1.45	300		
50以上	2.15	50	240	
	2.39	240		
50以上	3.15	50	100	
	3.25	100		
50以上	4.15	50	230	
	4.38	230		
50以上	5.10	50	20	
	5.12	20		
50以上	6.05	50	80	
	6.13	80		
50以上	7.00	50	30	
	7.03	30		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	100	86	S/WC	100	50	0	W1/0	0
2/2	50	86/ケーシング	D/DB	150	110	1	W2/6	6
2/3						1	W2/6	6
2/4						1	W2/5	5
2/7	100	66	D/DB	50	120	1	W2/5	2
2/8						1	W2/5	0